

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：全国

グループ： 1班

2020.11.01

ICTのニューノーマル



コロナ禍の学校生活

(A@長崎) 課題多かった。5月まで分散登校。

→再開

(B@京都) 課題多かった。4月から授業進んでた。5月まで分散登校。

(C@埼玉) 郵便で課題が週1で届く。Google classroomで担任から体調を報告。

(C@福井) オンデマンド授業動画見て課題。クラスLINE動いてた。

自粛期間の生活で出たメリット

- (A) バスケ部の活動時間が削れた為、趣味や自分の時間が増えた。
- (B) 友達とオンラインで遊ぶ時間が増え、仲が深まった。
- (C) 勉強も何もかも好きな時間にできる。
- (D) 家庭学習の質が高まった。

自粛期間の生活で出たデメリット

- (A) 受験勉強に焦って、精神的に余計に負担が掛かった。
- (B) 授業に着いていくのが大変。体力の低下。
- (C) 勉強の仕方が分からない。
- (D) 寝すぎた。授業の理解度の差が余計に目立った。

より良くするための解決案

- 勉強面→①Teamsで課題進捗の管理、グループワーク、先生やクラスメイトとの繋がり。(A)
- ②オンライン授業にしてほしい。授業を進めるのが遅れて、夏休みが無くなった。(B)
- ③Google Classroomで理解度のグラフ化、質問の書き込み＝皆の意見の徴収。(C)
- ④予習単元の課題は解けないから、オンライン授業。(D)

普段の生活

(A) Youtube, Instagram

(B) Instagram, Twitter, LINE, TikTok

(C) LINE, ビデオ通話

(D) LINE, Instagram, Youtube

→SNS

SNSのメリット

- (A) 一緒に居るように感じられる・話しやすい・開示しやすい
- (B) コミュニケーション、話題・情報収集
- (C) コミュニケーション・繋がり、同じ時間を共有して一緒に居るように感じられる
- (D) 流行のお店とか情報チェックできる

SNSのデメリット

(A) 楽しむためではなく、良い写真が撮れるかで競いがち。プライバシーの問題。

(B) 顔が見えないから、その人が本当に打ってるか疑心暗鬼になる

(C) 顔が見えない分、詐欺とか起こりやすい。見る時間が余計に長くなりがち。

(D) 顔が見えないから言いやすい分、誹謗中傷などがしやすくなる

より良くするための解決策

- (A) プライバシー保護・誹謗中傷→忠告。鍵アカウント。
- (B) プライバシー保護→忠告。
- (C) 詐欺・誹謗中傷・いいね稼ぎ→事実か、本人であるか、疑う。
- (D) 誹謗中傷→法的処罰。注意書き＝忠告

総括

自粛期間でコミュニケーションがあまりとれなかった。ICTの活用をすることで解決できると考えた。

活用するにあたり、

プライバシー・誹謗中傷・いいね稼ぎ→忠告・法的
処置

詐欺→疑う

デメリットに対する解決策を考えた。

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地： 全国

グループ： 2班

2020.11.01

これからのICTとの関わり方

現状のICTとの関わり方の問題点

【学業面】

- ・ コロナ禍でしかICTの技術を有効活用できていない
- ・ 周りとの情報共有が難しい

etc

【コミュニケーション面】

- ・ 顔を見合わせての会話ができない
- ・ 文字だけだと感情が伝わりにくい

etc

改善点

- ・ 学校内でもICTを使った授業を設ける
- ・ ボイスチャットでの会話の推奨

改善するにあたって

- ・ ICT機器の導入を進める
 - そのためにはまず予算の割り当てを考えていく必要がある
- ・ ICT機器の活用方法を考える
 - そのためには教師がICT活用スキルを習得することが必要不可欠
- ・ ボイスチャットができる環境を整える
 - そのためにマイクやカメラを準備する
- ・ 文字だけの会話でも伝わりやすいように書き方を考える
 - 各個人のコミュカの向上が重要

まとめ

- ・ ICTを強化する

= 県立高校と私立高校で環境設定に費やせる費用が違うので文部科学省が予算を配当してほしい

- ・ 遠隔授業の仕組みの改正

= AR等を用いての授業